



# 岐大の いぶき 2011 Spring-Summer No.21

【特集】

## 医療の最前線を担う “命の司令塔”

— 医者の真価を育成する高度救命救急センター —

Interview / 小倉真治

救急医療は人を助けたいという  
“医療の原点”が学べるところ。

就職内定率 95.7%

就職戦線を  
読み解く

それ以上  
その先の  
就職支援へ

— 理想の社会人をめざすための自分形成 —



03-04 Topics 岐阜大学のとりくみ Oct.2010→Mar.2011

【特集】

## 05-13 医療の最前線を担う“命の司令塔”

— 医者の真価を育成する高度救命救急センター —

岐阜大学医学部附属病院が築く救急医療の新潮流。

**Interview** 救急医療は人を助けたいという  
“医療の原点”が学べるところ。

岐阜大学大学院 救急・災害医学分野  
高次救命治療センター長 小倉 真治

**Conversation** 三次救急を行う大学病院の環境が、  
医者としての視野を広げてくれる。

高次救命治療センター  
研修医 谷崎 隆太郎・高橋 かおり・安田 立

## 14-21 就職戦線を読み解く

〈其の壹〉 就職内定率95.7%  
それ以上その先の就職支援へ  
— 理想の社会人をめざすための自分形成 —

〈其の貳〉 従来の就職支援室を吸収・発展させたキャリアセンターが今年度より本格始動！  
学生の自主性と自覚を促すキャリアプログラムを開発中。  
キャリアセンター長 佐々木 実

〈其の参〉 博士後期課程に進む大学院生のための就職支援  
好きな分野を究めて活かす“道”の選択。

岐阜大学イノベーション創出若手人材養成センター  
センター長 岡野 幸雄 (理事〈教学・附属学校担当〉・副学長)  
副センター長 川崎 晴久 (工学部・人間情報システム工学科教授)

副学長 (男女共同参画推進・環境対策担当)  
林 正子 (地域科学部 教授)

〈其の四〉 就活成功のカギは、「なりたい自分」が持っている。  
— 学生たちが手掛けた学生企業展の物語 —  
長谷川 裕士・田中 未恭・山越 健太

〈其の伍〉 ガンバレ就活！先輩内定者のひと言アドバイス  
谷田 淳・住吉 浩・北島 大輝・渡邊 智一

22 岐阜大学基金の状況報告

23 お知らせ

巻末 公開講座のご案内

3月11日に発生した東日本大震災により、お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに被災された皆様へ衷心よりお見舞い申し上げます。

貴重な命を守るためには、災害が発生する前の周到な準備と訓練が必要です。岐阜大学医学部附属病院には、災害や事故から貴重な命を守る、頼れる救急医療の拠点が設置されています。本号表紙に紹介しているドクターヘリは、本年より運用を開始しました。震災直後にも、複数の医師と看護師を岩手に運び医療活動に従事しました。

人々の命を助けるという宿命に燃えた医師を育て、またその技術向上を目指し、岐阜大学医学部は日々前進しています。本号により、救急医療の大切さと難しさがわかっていただければ幸いです。(編集長)



PHOTO  
ドクターヘリ  
(岐阜大学医学部附属病院屋上ヘリポート)  
撮影：チャモロ写真工房・鈴木

## 課外活動

平成 23 年 2 月 27 日 (日)

### 地元勢初の栄冠！ 地域科学部3年の高木陽輔さんが 全日本学生落語選手権「策伝大賞」に。

※過去最多となる全国 50 大学・大学院の学生 228 人が出場。26 日の予選を突破した 8 人が決勝へ進出。審査員は、細江茂光岐阜市長、落語家の桂三枝さんや立川志の輔さんが務められました。



■ 落語との出会いは小2の時。小学校の落語クラブの顧問と担任の先生から「キミは落語に向いている」と、廊下で声を掛けられたのがきっかけだったそう。以来 11 年間、趣味で落語に親しんできた高木さん。尊敬する落語家は大会審査員でもあった立川志の輔師匠。



■ 左は文部科学大臣から贈られた最優秀賞「策伝大賞」の賞状。右は岐阜市長から贈られた「岐阜市長賞」の賞状。

江戸時代の高僧であり、「落語の祖」として知られる岐阜市出身の安楽庵策伝にちなみ、2004年より毎年開催されている「全日本学生落語選手権『策伝大賞』」の決勝が、2月27日、岐阜市長良川国際会議場で開催されました。第8回となる今大会にて、最優秀賞「策伝大賞」に輝いたのは「三流亭今吉(いまいち)」こと、高木陽輔さん(地域科学部3年)。過去最多となる全国50大学・大学院の学生228人が出場する中、地元勢初の栄冠に輝きました。

昨年に続き決勝進出となった高木さんが熱演したのは古典落語の「二番煎じ」。「火事は江戸の華」と言われた時代の夜回り旦那衆と、姑息な役人とのやりとりを、滑稽かつ表情豊かに演じ分け、約1400人の観客で埋まる会場を沸かしました。「この演目、わりと話が地味なので学生にはあまり人気がないんです。それに旦那衆が役人に隠れてコソコソ食べたり飲んだりするシーンがありまして、決勝に進んだ8人の中で飲み食いのパントマイムをやったのが僕だけ。だから目立っていたんだと思いますよ」と冷静に大会を振り返る高木さん。もちろん8分ほどの持ち時間に合わせた本編の編集の仕方、演出の独自性、表現力、声の大きさなどが総合的に審

査される中、すべての項目で審査員から高い評価を得た上の結果です。

「策伝大賞は地元大学という理由で入学当初から出場していました。昨年は決勝まで行きながら悔しい思いをしたので、今年こそはという気持ちが強かったかもしれません」。そんな高木さんですから、さぞや練習を重ねたのではと尋ねたところ、意外な答えが返ってきました。「ひたすらCDを聴くのが僕の練習スタイル。今回の演目では春風亭柳橋や古今亭志ん朝のCDを参考にしました。身振り手振りの基本は、動画サイトやビデオでチェックして、自分なりにアレンジしていますね。台本という台本はありません。話の流れを箇条書きにし頭に叩き込んだら、あとはお客さんの前でやってみるといった感じです」。

この春、4年生になった高木さんの目標は、落語研究サークルを盛り立てることと後輩の育成だそう。その後輩に向けて「策伝大賞はあくまでも成果の一つ。大事なことは日頃から公民館などいろんな施設で落語をやることです。やはり、たった一人でたくさんのお客さんを愉ませられるのが落語の魅力ですから」とメッセージを送る高木さんは、舞台の顔とは違う、少しくールな語り口が印象的でした。

## 課外活動

平成 23 年 1 月 22 日 (土)

### 全国一斉わんにゃんプロジェクト！

本学の学生を中心に結成されたサークル「Dream Box」。犬猫の殺処分の現状をより多くの人に知ってもらおうと、県内外の小・中・高校などで啓発活動を行っています。

今回、「全国一斉わんにゃんプロジェクト」と題し、JR岐阜駅前などで自主製作した

リーフレットを配付。帯広畜産大学や北里大学など他大学の有志たちにも協力を呼びかけ、全国各地で犬猫の殺処分削減を訴えました。



## 大学

平成 22 年 11 月 4 日 (木) ~ 7 日 (日)

### 第62回 岐大祭 -みち- を開催

学生が自主的に企画・運営する「第62回岐大祭」が、秋晴れのもと、盛況のうちに終了しました。今年は「-みち-」をテーマに、今まで歩んできた道(過去)とこれからの未知の世界(未来)を考えるきっかけとなることを願って開催されました。

当日は、ゼミやサークルが模擬店を出店。お笑い芸人による屋外ライブやステージイベントなど、趣向を凝らした催しも実施されました。多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。



大学

平成22年11月10日(水)

## よりよい岐阜大学を目指し、学生と役員が意見交換

工学部と医学部にて「学生と役員との意見交換会」が開かれました。「ともに考えよう岐阜大学の目指す人材養成像実現のため必要なこと」をテーマに、森学長ら役員が各学部・研究科へ出向き、学生の生の声に耳を傾けました。

工学部では77人の学生が出席。「オンラインで見ることができる電子ジャーナルを多くしてほしい」「国際性を身に付けるために、留学生を増やして英語による授業を多くしてほしい」などの意見が上がりました。30人が参加した医学部では、「実習などの予定を早く知らせてほしい」「図書館やセミナー室の開放時間を長くしてほしい」などの要望が寄せられました。

森学長は「意見を真摯に受け止め、今後に生かしていきたい」とあいさつ。要望については、大学全体及び当該部局で検討し、対応状況を報告していきます。この意見交換会は、他学部や連合大学院でも順次開催しました。

現在、電子ジャーナルの拡充については、平成24年度以降に新たなパッケージを導入する方向で検討、英語能力の向上については、学部の特性に合った英語教育内容、新カリキュラムを検討しています。他の事項についても、大学及び各部局で検討しています。

また、構内案内板を見やすくするとともに、主要箇所新たに案内板を設置するなど環境整備を行いました。



大学

平成22年11月5日(金)・6日(土)

## 岐阜大学フェア2010を開催

岐大祭と同時開催された「岐阜大学フェア2010」では、日頃の教育と研究の成果を一般公開しました。2日間にわたり、下記の通り多くの方にご来場いただきましたことを、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



来場者数(人数)

会場	5日	6日	来場者数計(人)
講演会	【特別講演】 171人	【シンポジウム】 296人	467人
パネル会場	262人	640人	902人
模擬授業	—	110人	110人
廃水処理施設見学	15人	35人	50人
来場者数計(人)	448人	1,081人	1,529人

大学

平成22年10月6日(水)

## 応援奨学生決定通知交付式を実施

昨年の創立60周年を機に立ち上げた岐阜大学基金による事業の一環として開始した応援奨学生制度。平成22年度の奨学生18人を決定し、決定通知書交付式を行いました。

森学長は「本奨学金の趣旨を理解し、学生生活を有意義に過ごしてほしい」と激励。応援奨学生代表の教育学部4年渡部優姫さんは「有効に活用し、後輩の模範になりたい」と抱負を述べました。



地域科学部

平成22年11月30日(火)

## 地域科学部が2大学と協定を締結

地域科学部が、岐阜経済大学及び岐阜市立女子短期大学との間で、連携協定を締結しました。岐阜経済大学の谷江幸雄学長は「学部・学科が多様な国立、公立、私立の大学が連携し、それぞれの特色を生かしていきたい」と述べ、地域科学部の口藏幸雄学部長は「『個々の大学』としてではなく『岐阜』の大学として人材育成に力を注ぎ、地域社会発展のために大学から岐阜の魅力を発信していきたい」と思いを語りました。



大学

平成23年3月25日(金)

## 1861人の新たな門出にエール

長良川国際会議場にて「平成22年度学位記授与式」が行われ、学部学生1354人、大学院学生507人が卒業・修了しました。

森学長は「前途を切り開く気概が、明日のこの国の発展に重要です。可能性を信じて進んでいただきたい」と告辞。学生代表は「大災害からの復興、日本の発展に対して何をすべきかを常に考えながら邁進していきたい」と力強く語りました。

また、式場の外では、学生有志らが東北地方太平洋沖地震への募金活動を行いました。



【特集】

# 医療の最前線を担う 命の司令塔

― 医者の真価を育成する高度救命救急センター ―

万一の時の頼れる存在として、私たちの社会に欠かすことのできない救急医療。つねに医療の最前線に位置しながら、多くの尊い命を救っています。

岐阜大学医学部附属病院は、そんな救急医療の重要性を踏まえ、岐阜大学医学部附属病院は、そんな救急医療の重要性を踏まえ、「救急指導医」を育成。

「中部地方における命を救うための最後の砦」となる全国トップレベルの高次救命治療センターを有し、「中部地方における命を救うための最後の砦」と一線を画した「救急指導医」を育成。

いわゆる臓器別診療体系における「専門医」と「線」を画した「救急指導医」を育成。高度な治療を総合的に行う先進の設備・環境を整え、救命医のみならず、

高度な治療を総合的に行う先進の設備・環境を整え、救命医のみならず、各科専門医を目指す医者の卵たちにとっても付加価値の高い学びの場を提供しています。

# 岐阜大学医学部附属病院が築く

## 救急医療の新潮流。

数年前から社会問題化している救急患者の「たらい回し」。

そこには絶対的な医師不足と、未成熟な救急体制の問題が複雑に絡み合っています。

もちろん岐阜県として例外ではありません。面積が広く、県土の約80%を山間地で占めるこの地では、かつて県民の多くが「大怪我をすると助からない」という認識を持っていました。

しかし、今やその認識も岐阜大学医学部附属病院の存在と取組みによって、大きく変容しています。

「岐阜に住んでいれば安心」。誰もがそう思う先達の救急システムもいよいよ運用開始。

救急医療は、岐阜大学医学部附属病院から変わるのです。

最適施設に最短時間で  
患者を搬送するために。  
救急医療情報共有支援システム  
GEMITS（ジェミッツ）を共同開発。

岐阜大学医学部附属病院の小倉  
真治教授がプロジェクトリーダー  
となり、岐阜大学と沖電気工業、デ  
ンソー、インターネットITS協議  
会（IIC）などが共同で開発し  
た「救急医療情報共有支援システ  
ム（GEMITS：Global Emergency  
Medical support Intelligence  
Transport System）」。

これは救急車等の搬送車両に搭  
載した端末と医療機関、岐阜大学  
内の「情報統合センター」をネッ  
トワークで結び、患者情報をもと  
に瞬時に適切な搬送先を探し出し、  
医師が迅速に治療を開始でき

るようサポートするシステムです。

その仕組みは、まず現場に駆け  
つけた救急隊員が、車載ITSシス  
テムで患者の傷病情報を音声入  
力し、さらに患者が携帯するIC  
カード（MEDICA）から血液  
型や病歴、アレルギーの有無等を、  
携帯端末で読み取り「情報統合セ  
ンター」に送信。すると同時に、  
患者の治療に当る医師の居場所や  
「手術中」「診察中」といった状況、  
病院のベッドの空き情報などが自  
動的に収集され、センターがこれ  
ら情報を調整し、救急隊員に連絡  
指示を送るといった流れです。

救命率をアップし  
後遺症等の影響を最少限にする  
理想の救急医療体制の確立

NEW  
情報統合  
センター



今、患者の治療に最適  
な医師のいる最適な施  
設に、最短時間で搬送  
するための指示を、現場  
に即座に返答すること  
が可能。

患者の情報を  
センターに送信

氏名	生年月日
最終更新日	
既往の病歴	投薬歴
アレルギー	血液型
緊急時のメモ	
緊急時の連絡先	

病院と医師の情報を  
リアルタイムで収集

病院	〇〇〇病院
ベッド空き	あり
医師	〇〇〇〇先生
診察中	

〇〇〇病院へ  
向かってください。

NEW  
メдикаカード

NEW  
専用読取端末

NEW  
ドクターヘリ

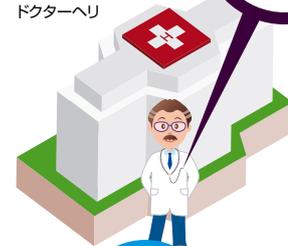
NEW  
ICタグ



消防



現場



病院

## 患者情報の収集に役立つ MEDICA(メディカ)カードも開発。

前述したGEMITSに欠かさない情報収集手段の一つが、患者の様々な情報を書き込んだICカード「MEDICA」。そこには氏名、生年月日、性別、血液型、病歴、投薬歴、アレルギーや感染症の有無など、厳選された情報のみが登録されます。こちらは09年5月から、岐阜県内5市8町1村の救急隊に端末を搭載するとともに実用化が始まっており、すでに実際の救急現場で貢献しています。そして今年の秋までには、岐阜県全域で加入が可能となり、カードの情報を読み取る専用端末も、県内すべての救急車両に搭載される予定です。

MEDICAカードを携帯することは、スムーズな救急医療を受けたいという患者側の意思表示となります。



カード内登録情報 / MEDICA ID、病院名、更新日、氏名・カナ、生年月日、血液型、既往歴、投薬、感染症、その他の有用情報

## 現場教育の幅を広げる ドクターヘリの運航。

2011年2月9日に運行開始した岐阜県ドクターヘリ。ヘリポートは岐阜大学医学部附属病院の屋上にあり、出動要請があると、院内の救急専門医と研修医、看護師を乗せて現場に赴きます。ドクターヘリの運行は、県内の救命率向上につながるのはもちろんですが、研修医にとって「人の命を助ける」という医療の原点を学ぶ実践の場としても大きな役割を果たします。各科の専門性に加え救急専門医の技術と知識を身につけることを可能にしたレベルの高い教育環境とシステム。岐阜大学医学部ならではの付加価値がここにあります。



出動要請から5分以内に医師を乗せて飛び立つことのできるドクターヘリ。従来よりも室内の広いタイプが配備されており、患者をストレッチャーに乗せたまま、医師ら4人が搭乗可能となっている。

# 岐阜から全国、 そして世界へ。

救命率を上げるための最大の要素は、最適な治療が行える施設へ最短時間で患者を送ること。GEMITSもMEDICAもドクターヘリも、すべてはその目的を果たすために前進しています。さらにGEMITSの普及により時間のロスが無くなり、現場の最適化が図れば、医師の負担が軽減され医療の質の向上にもつながっていくとの見方もあります。

現在、GEMITSは岐阜大学医学部附属病院を中心に他病院を指定し実験的な運用が始まったばかりですが、その研究成果に全国の行政・医療機関が注目し期待を寄せています。岐阜から全国、そして世界へ。岐阜大学医学部附属病院の救急体制とシステムが、理想の医療を牽引していきます。

## 高次救命治療センター

大都市圏以外では極めてまれな、救急医療に対する高い技術と豊富なマンパワーを有する岐阜大学医学部附属病院の救急部門。設立後の2006年2月に高度救命救急センターに指定され、岐阜県の救急医療の最後の砦として、県内外の一次二次医療機関はもとより、三次医療機関の救命救急センターからも紹介があることが特徴です。地域の中核病院として救急指導医、救急専門医以外に院内の各専門領域の医師が専従し、総合的・集学的で高度な診断・治療を行うとともに、地域住民・救急隊・病院を連携した病院前救護体制の整備を担っています。また災害医療にも積極的に取り組み、DMAT(災害医療支援チーム)としての活動も行っています。

救急医療は人を助けたいという  
医療の原点が学べるところ。



Interview  
OGURA Shinji

岐阜大学大学院  
救急・災害医学分野  
高次救命治療センター長

小倉 真治

OGURA Shinji

2004年6月、岐阜大学医学部附属病院の移転・新設と同時に開設した高次救命治療センターに、唯一の救急専門医として迎えられ、陣頭指揮を執ってきた小倉真治教授。

以来7年間、延べ140人の医師を育て、岐阜県を中心に各方面の中核病院へと送り出してきました。また県ドクターヘリの導入や、救急医療情報支援システムGEMITSの開発に尽力するなど、日本における救急医療の根本的改善に向け精力的に活動されています。そんな小倉教授に、救急医療の特徴と問題点、岐阜大学医学部附属病院ならではの体制と人材育成への思いをお聞きしました。

## 救急医療のクオリティが患者の命と社会復帰に直結する。

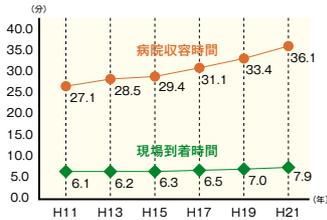
—まず一般的な診療と救急医療の違いは何でしょうか？

ひとことで言うなら、時間の差になります。たとえば体調が悪くて病院に行くと、通常医師はレントゲンを取ったり、血液を取って検査し、その結果を見て治療を開始します。ところが救急の場合、特に重症患者になると、そんな悠長に検査などしてられない場合があります。すぐに点滴を打ち、同時に気管挿管して動脈圧を取るなど、一連の救命措置を行いながら、最善の治療法を選択し処置しなければなりません。そこには総合的な医学の知識と判断力、スピードが求められます。これは、どんな優秀な外科医でも、トレーニングを受けなければできないこと。さらに言えば、一連の救急医療のクオリティによって、救急患者の命が助かるかどうか、また日常生活に戻れるかどうかが左右されるわけです。普通の医者が

—具体的には、どんな問題点がありますか？

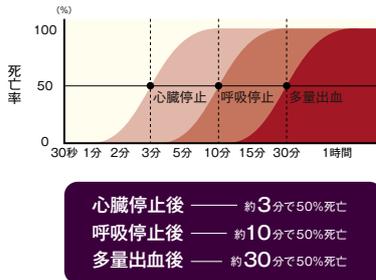
先ほども言いましたが、救急医療は時間との戦いです。疾患の症状が現れてから、治療開始までの時間が短ければ短いほど救命率は上がります。しかし現状、救急隊が現場に到着するまでの時間は全国平均79分。病院施設に収容されるまでの時間は平均361分です。万一交通事故で大量出血した場合、救急車を呼んで病院に着くまで40分以上となれば、救命率は半減します。

救急自動車の現場到着時間と病院収容時間



SOURCES/総務省消防庁 平成21年度救急救助の概要

カーラーの救命曲線(死亡率の目安)



### 小倉 真治 教授

岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学教授  
同大学医学部附属病院高次救命治療センター長

1985年に岐阜大学医学部を卒業。  
1996年に米国サウスカロライナ大学客員研究員。  
翌年、香川医科大学附属病院救急部助教授となり、  
2003年より現職。  
日本救急医学会指導医、認定医。  
専門分野：救急医療体制ほか

ば、救命曲線(※上図参照)に照らせば助かる見込みはゼロ。もちろん救急車には救命士がいますし、近くに居合わせた誰かが素早く応急処置をしてくれることもあるので、現実には違いますよ。ただ、なぜこんなに時間を要するか？なのです。

現在の救急医療の流れでは、119番通報を受け救急車が出動。現場に着いた救急隊員が患者や周囲の関係者から事情や病状を聴取し、そこから搬送病院を選定して電話をかけ、受入れ要請を行います。この時、どの病院に要請するかは救急隊員の経験による判断に委ねられているのが現状で、電話をかけるまで病院側の詳細な状況はわかっていません。1件当たりに費やす時間は平均4分30秒。要請件数が増えれば増えるほど、時間は無駄に過ぎていきます。もし最適な治療を行える専門医がこの施設に居て、いま何をしているかが分かっていたら…。また医者側にすれば、もし搬送されて来る前に患者情報が詳細に分かっていたら、治療の効率化を図ることが可能になります。そう

考えると、救急隊と医療機関のスムーズな連携には、精査された情報の伝達が必要不可欠なことが見えてきます。

救急医療の問題点は様々に挙げられます。しかし要因の一つである絶対的な医師不足をすぐに解消するのは難しく、お金も時間もかかりません。医師数が増えたからと言って確実に改善されるものではありません。今ある医療資源を有効に活用するためにも、また患者の搬送手段を充実させて(救急車やドクターヘリを増やしたり、道路を整備する)、最適な医療機関に搬送する場合でも、真っ先に取り組むべき課題は情報の共有化。そこでGEMITSという救急医療情報共有支援システムや、患者の医療情報を登録するMEDICAカードを開発し、これらの実用化を進めているわけです。MEDICAカードの方は、今秋までにカードを読み込む専用端末も県内全部の救急車に搭載される予定です。その後、岐阜県の希望者のほとんどが持てるような仕組みを考えています。

# 「理想の医者」を 社会に送り届ける ことが使命。

助けたい命があればこそ  
求められる救急専門医。

― 医師不足の話はよく聞きますが、救急専門医も不足しているのですか？

救急に関する専門医制度の確立は他の専門医制度と比べ新しいので、絶対数はかなり少ないです。ただ、医師不足云々の話は、必要性に対する数字になるので、判断が難しい面があります。特に救急医の場合、地域住民がどれくらいのレベルの救急医療を望むかによって、多い少ないの議論は変わってきます。誰もが「救急車に乗って病院に運ばれたら最後、助かる可能性は低い」なんて認識を持ち、それを許すなら、救急の専門医は要らないことになる。でもそんな認識はまったくの間違いであって、良い医療を施せる医者がいれば確実

に助かる人はいたのです。少なくとも岐阜大学医学部附属病院は、そういう人材を育てているし、育てたいと思っている。つまり、当たり前前の感情として救える命を救おうとするなら、救急専門医はまだまだ足りていないことになります。

**本邦最高水準の医療が学べる環境。自分の求める医療が目指せる土壌。**

― 岐阜大学医学部の魅力についてお答えいただけますか？

やはり、この高次救命治療センターの存在自体が、他の大学病院には無い特徴であり魅力でしょうね。国立大NO.1の診療施設を備えているほか、屋上にはヘリポートがあつてドクターヘリが待機しています。そして通常の医者は患

者が来るのを待っていますが、ここでは研修医のうちから患者のところに向かう権利と義務を持っています。ドクターヘリやドクターカーで現場に行く、あるいは受入れ先の病院にも出向き、その場で治療を行う。この幅広い経験は、将来、研修を終えてドクターになった時に一旦置かれる「差」になります。

例えば、本学の救急医療の研修を経て外科医になった人と、そうでない一般の外科医とでは、スタート時から理解できる言葉の数が違うのです。医療の現場で、プロ同士のコミュニケーションが取れるということは、それだけでさらに高いステップを踏めることにもつながります。

また、岐阜大学医学部および高次救命治療センターが掲げる理念は「岐阜県のどこで発生した重症救急疾患であろうと、日本で最高レベルの救急集中治療が受けられ

る」というもの。そのため、つねに本邦最高水準の医療を維持していくミッションが与えられ、そう努めているのです。

ここで学ぶということは、当然、レベルの高い医療に触れることになります。特に集中治療医学や救急治療医学の分野、つまり最も重症な患者をどうやって助け、社会に戻っていただくかという、本来医者が目指すべき、もともと純な医療が学べるわけです。

**一般の人が描く医師像に最も近い医者を育てたい。**

― 医学部の学生で救急医療を志望する人はどれくらいですか？

1学年で約2%です。まあ、これが普通でしょう。「人の命を救う」という医療の原点を一番ダイレクトに表した分野で、医学部を



## 素朴な疑問を 小倉先生に聞いて みました!

Q. ドクターヘリで搬送されると  
お金がかかりますか?

A. いいえ、無料です。

現場の状況や、患者の容体によってドクターヘリを要請するかどうかが決定されます。要するに救急車と  
いっしょですね。ですので、もちろん無料です。

Q. MEDICAカードは、どうすれば  
手に入りますか?

A. 秋頃を目処に、Webサイトから  
申込を受け付ける予定です。

秋頃を目処に、専用のWebサイトから受け付ける予定  
ですが、それ以外は未定で現在検討中です。いずれ  
にせよ、岐阜県民全員が持てるようにしたいですね。  
敬老の日にプレゼント…とか、“お守り”代わりに旦那  
さんにプレゼントとかできると良いですね。

Q. 個人情報保護の面から、セ  
キュリティは大丈夫ですか?

A. 十分なセキュリティレベルを有  
しています。

MEDICAカードに自分の情報を登録し、所持するとい  
うことは、保険証やクレジットカード等と同じくらい重  
要なカードを所持するということになりますが、同時に  
それらと同じくらいのセキュリティ(安全度)を持って  
いるとさせていただいて結構です。なにより、そんな心  
配を遥かに越えるメリットが救急時には得られますか  
らね。

GEMSIS専用サイトも随時更新中!

<http://gemsis.jp/>

志す人なら、たいして最初は、こ  
う一般的なイメージされる医師  
像を目標にしたはずで。それが  
研修医をやっていくうちに、仕事  
はラクな方がよいなどと思いはじ  
め、徐々に純粋な気持ちが薄れて  
いく…。もちろん私も若い頃、特  
別高い志を持っていたわけではあ  
りません。救急をやっていたら、  
いろいろな苦境に耐えられるドク  
ターになれるような気がして、な  
んとなくやっていたらこうなっ  
ていた。正直、ラクしてお金が貰え  
る方がいいと思ったこともたくさ  
んあります。でも年を重ねていく  
ほど、どんどん澄んだ気持ちにな  
り、医療の原点に戻っていくよう  
です。おそらく、今まで多くの人  
を助けた喜びと自信が、そして逆  
に助けられなかった悲しみが自分  
を磨いてくれたのではないと思  
います。

—救急医に向かない人というのは  
ありますか?

まったくありません。たとえば  
ラグビーというスポーツは知って  
いますか?これは2m100kgの  
巨漢から、160cm50kgの小兵ま  
で、どんな体型であろうと、ちゃん  
とポジションが与えられるスポー  
ツです。救急医療部門もラグビー  
と同じく、体力が無い人でも、血を  
見るのが怖い人でも、必ずできる  
仕事がある。もちろん男も女も関  
係ありません。救急医療はレベル  
が高くなればなるほど、チーム力  
が求められます。一人のスタープ  
レーヤーが、ガンガン突っ走ればい  
い世界ではなく、みんなで戦い成  
果を挙げるところに達成感と喜び  
を感じる医療分野です。

こうした意味もあって、本セン  
ターでは、どの時間帯であろうと  
最低5名のスタッフが常駐してい

るよう、30名体制を確保していま  
す。この人数構成は、研修医を除  
く正規ドクターの数であり、一人  
当たり週48時間勤務体制(1日8  
時間労働)が築ける最低ラインと  
して開設当初から厳守しているこ  
と。1日2交替の週14コマ168  
時間を30名で振り分けシフトを組  
んでいます。シフトの決め方は各  
ドクターのプライベートな事情も  
考慮されるため、例えば子ども  
いる女性ドクターでも無理なく勤  
務できる仕組みになっています。  
また30名のうち14名が救急専門医  
で、どの組み合わせになろうと、チ  
ム内には必ず専門医が一人以上い  
ることになっています。これは研  
修医にとっても、頼もしい教育環  
境だと思います。

医者という職業は、人の不幸と  
向き合う分、決してラクな仕事で  
はありません。それにもかかわら  
ず、昔は週に100時間労働も珍

しいことではありませんでした。  
体はクタクタでも根性で乗り切  
れ!などとする悪しき風習があっ  
たのです。でも、医者が肉体的に  
も精神的にも疲れてくると、診療  
は荒れてきます。特に一刻を争  
う救急医療では、少しのほつれが  
チームワーク全体を狂わし患者の  
命を危うくする。これこそ、まさ  
に「医療は人である」と言われる  
所以です。

どんなに設備やシステムなど、  
ハード面を充実させても、人材あ  
つてこそ医療。人々が求める「理  
想の医者」を数多く育て社会に送  
り届けることが、岐阜大学医学部  
附属病院と、さらには私の使命だ  
と思っています。



Conversation

岐阜大学医学部附属病院  
高次救命治療センター

## 研修医対談

現在、岐阜大学医学部附属病院で学ぶ3人の研修医たち。  
めざすステージは三者三様ながら、彼らがここで掴み取ったものには、  
共通の何かがあります。  
それは医者への道を選ぶ者が抱く、果てしない感覚。  
そして自分が追い求める「理想」への確信です。

どんな傷病にも対応できる  
ジェネラリストになりたい。

「みなさんは、すでに何科の医者になるかを決めているのですか？」

**安田** 僕は救命医です。5年生の実習で、救急医療が一番興味を持ったことがきっかけです。最も社会につながっている分野だと思い、それで小倉教授に話を聞きに行ったら「ちょうど救急特別コースを作ったから、1期生にならないか」と誘われました。

**谷崎** 僕は、ゆくゆくは無医村や離島の医者になりたいと思っています。僕はもともと内科専攻で、初期研修を宮城県の病院で終えています。そこは二次救急までの病院で、僕も何度か救急患者を診ました。そして、重症患者を三次救急へ送り出すわけですが、その先でどんな治療をするのか見たいと思った。将来、無医村の医者になるなら、どんな傷病も診れるジェネラリストでなきゃいけない。時には、高次施設への転送が必要かもしれない。それなら患者さんを送り出す先の病院のことも知っておかなきゃと…。そんなわけで、三次救急のあるこの病院へ勉強に来ている。救急センターは、僕のようにいろんなバックグラウンド、モチベーションを持った人が集まっていますね。

**安田** そうですね。1年とか半年とか、短期で研修に来ている人も多いです。し、人の出入りが激しい部門です。高橋さんも3ヶ月だけの研修ですよ？  
**高橋** ええ。私は産科志望ですから、救急は初期研修の必修科目という位置

づけです。でも実習の時とは違い、重症を負った患者さんが実際に救命される様子を間近に見ながら治療に関われたことは、とてもいい勉強になりました。またいろんな症例が経験でき、期間限定で研修に来られる他の科の先生方の指導が受けられたのも収穫でした。いずれ産科医になって、出血のひどいお産に立ち合う場面もあると思いますし、やはりそういう時にちゃんと対応できる医者になりたいですね。産科に進んだ後も、集中治療の勉強のため、もう一度救急部門で学びたいと思っています。

**安田** 本当は救急医療をしっかりとやった後に、自分の専門性を高めていくのが理想的と小倉教授は仰っていました。僕は救命医になるのが前提なので、小倉先生が救急に特に必要と思われる科をピックアップしてください、それらの科を1〜2ヶ月単位で回るといい、まさにジェネラリストになるための研修プログラムになっています。

**谷崎** うん、救急の経験は必ず役立つと思うね。ここには「その症状はウチの科の担当じゃないから」なんて言う医者は一人もいない。どんな症状でも救急の患者はウチが診ますよとなる。それだけ何でもやれるということですね。例えば飛行機や電車内で急病患者が出て「お医者さんいませんか？」と言われたら、僕は手を挙げるけど、中には専門外の患者を診るのを嫌がる医者もいます。小児科医が「病氣」ではなく「小児」という対象を診る医者であるように、救急医は医療における緊急事態に強い医者であると認識しています。

# 三次救急を行う大学病院の 環境が、医者としての 視野を広げてくれる。



高橋 かおり  
(1年目：前期研修医)

谷崎 隆太郎  
(5年目：後期研修医)

安田 立  
(1年目：前期研修医)

挫折はいっぱいある。でも、その経験はあった方がいい。

安田 ところで谷崎先生は、もうドクターヘリに乗られてますよね？僕はいつごろ乗せてもらえるだろう？やはり3年目くらいからですか？

谷崎 それは状況によると思うよ。ドクターヘリ自体、まだ始まったばかりだし。おそらく現場で患者さんを診断する能力とか、胸腔穿刺、気管挿管など、基礎技術の習得具合を見て指導医が判断すると思う。ただ、自分を含め若い医者が早い段階から現場に行くのはいいことなんで、きつとすぐに順番が廻ってきますよ。

安田 確かにこれからですものね。でもドクターヘリが飛ぶようになって、僕としてはラッキーというか、今から研修医になる学生にも、すごくいい目標、励みになると思います。

高橋 お二人は今まで挫折とかは無いですか？救急の現場ってシロクなこと多いですよ？私なんか、麻酔科研修の時に投薬の確認がこまめにやれず怒られてばかりで。向いてないのかも…と何度も思いました。

安田 僕もできないことが多すぎて、しょっちゅう落ち込んでます。出来ることが一つ増えても、次に出来ないことが見えて、先の長さを感じたり。それに目の前で亡くなっていく命を見ると、いたたまれない気持ちになりますしね。

谷崎 救急は、たくさんさんの命が助かる場であり、たくさんさんの死に直面する場でもあります。とにかく場数を踏むしかないです。でもどんなに訓練を積んでも、

今にも息絶えそうな患者さんを前にすると、やはり緊張します。現実の医療は、試験のために勉強してきたことがまるで通用しない世界。僕も何度挫折したことか。でも乗り越えるたびに確実に強くなっている気がします。

—最後に、医師を志す後輩たちへメッセージをお願いします。

高橋 医者は患者さんとの出会いの中で勇気付けられることの多い仕事。誰かのために頑張れるという意味では、めざして間違いない職業だと思います。

安田 医者はタフじゃないと務まりません。だから勉強も大事ですけど、課外活動などに積極的に参加して、体力、精神力、コミュニケーション力を鍛えておくのも必要。それとやはり、挫折感を味わうことも大事です。

谷崎 たとえば今回の地震災害の映像を見て、何とかしたい、助けたいという思いを満たしてくれるものの一つが医療だと思えます。医者でなければできないことはたくさんあって、誰かのために何かをしたかった時、医者ほどその可能性に満ちた仕事はないと思えます。あと大事なことは「空気を読む力」ですね。相手の気持ちを汲み取り、話す力とか…患者さんを励ましたり、誤解のないよう説明したり。医者としての技術や知識を磨くのも大切ですが、実はこういう力を磨くのも医者には必要なことだと思います。



# 就職内定率 95.7%

# それ以上 その先の

# 就職支援へ

—理想の社会人をめざすための自分形成—

全国平均を大きく上回る  
就職率の理由とは。

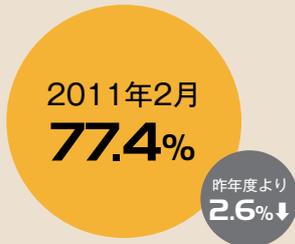
厚生労働と文部科学両省が発表した2011年の大卒者就職内定率（2月1日時点）は、前年より2.6ポイント低下の77.4%。岐阜大学では、これを大きく上回り、同時期では92.5%、3月末時点では95.7%と高い数字をマークしています。

現在、世の中全体が「就職難」に彩られ、かつ今回の東日本大震災の影響が懸念される中、不安を抱く学生も多いと思いますが、今年度も昨年以上の就職率が収められるよう、大学として最大限のサポートを行っていきます。

さて、2011年度の就職状況を本学なりに振り返り分析して見ますと、学部や学科によって異なるものの、昨年度よりも全体的に男子と女子の内定率の差を埋めつつ、就職内定率をわずかに上昇させることができました。また本学学生に対する採用企業側の評価としてよく耳にするのが、「基礎学力はもろろんのこと、社会人としての基盤的能力（コミュニケーション力や判断力、行動力、構想力など）を備えた真面目な人物」というもの。これは、長年培ってきた本学ならではの教育方針とシステムが、学生の中に十分浸透していることの表れであると自負しています。

## 日本全国の就職状況

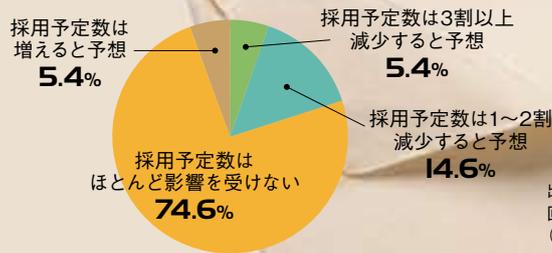
### 就職内定率の全国平均



出典/文部科学省・厚生労働省  
平成22年度「大学卒業生の2月1日  
現在の就職内定状況調査の推移」

### 東北地方太平洋沖地震の新卒採用に関する影響

Q. 今回の震災の影響で、貴社の2012年度新卒採用人数が影響を受けると予想されていますか。(人事担当者への質問)



出典/HRプロ株式会社  
回答件数: 130件  
(3月28日集計時点)

## 岐阜大学の就職状況

### 岐阜大学就職内定率



\*岐阜大学2011年3月卒業者の  
3月末現在の就職内定率

#### 内訳

求職者数 **789人**

就職内定者数 **755人**

#### 男女別就職内定率

男子 **94.8%**  
昨年 **92.8%**

女子 **96.6%**  
昨年 **97.6%**

県内就職者数  
**314人**

今までの就職支援の機能が  
より豊かな内容に進化する。

近年、経済のグローバル化が進み、企業間競争が増す中、採用する人材に対する企業の要求度は次第に高くなっています。そのため、今年度の企業の採用計画数(採用を予定している人数)は、公式では昨年並みとの見方ではありませんが、様々な角度から慎重な選考が行われるだろうと予想されます。

こうした背景を踏まえ、本学では、これまで以上の「就職支援」を行うことを決意し、新たに「キャリアセンター」を設立することとなりました。ここでは、既存の就職支援体制に加え、各学部学科の教員が個別に授業科目に取り入れてきた「キャリア形成(就業意識の形成)教育」を体系化し、すべての学生に行き渡る仕組みづくりを行っていきます。

岐阜大学の教育目標のキーワードは「高度な専門職業人の育成」。それは単に就職という、社会の入口に立つことだけを目標としているわけではなく、本学の学生全員の就職後の人生を見据えたうえで設定されたテーマです。

学生一人ひとりに、どういう自分を目指すのか、またいかに社会の一員として役立つ人間になるかを意識させるために、岐阜大学の新たな就職支援が始まります。

従来の就職支援室を吸収・発展させた  
キャリアセンターが今年度より本格始動！

# 学生の自主性と自覚を促す キャリアプログラムを開発中。

就職戦線を  
読み解く

其の弐

キャリアセンター長  
人間情報システム工学 知能制御システム工学 教授

佐々木 実

研究分野はメカトロニクス、ロボット工学、インテリジェント制御、生体情報工学、自動制御と幅広い。「新技術融合シリーズ第6巻」[メカトロ油圧技術]など、共著を含め著書多数。

「就職支援の本丸！」  
「キャリアセンター」の  
センター長に伺いました!!

実社会で役立つ人間を、いかに輩出していくか。  
本学の使命として「就職のミスマッチ」に立ち向かう。

いま、なぜキャリアセンター、キャリア教育なのか。それは近年問題となっている若者の離職率の高さ、ニート、フリーターの増加に、国全体が危機感を覚えているからに他なりません。「個人の資質の問題だ」「家庭環境に因る」「親の育て方が悪い」等々、原因について議論すれば、おそらく意見は様々に分かれることでしょう。ただ、それらを突き詰めていくと、結局は「学校教育」へと辿り着きます。まず思いつくのが、受験合格にのみ目標を置いた偏差値重視の教育体制。進路指導で学生が陥りがちなのは、「入りたい大学」の探求ではなく、「入れる大学」の選択です。とりあえず大学だけは出ておこう；そんな社会の風潮もあり大学進学率は高くなっていますが、その分、目的を失ったまま大学生活をやり過ごし、「社会人とは何か」「就業とは何か」という自覚を持たないまま卒業してしまう学生が多くなっているわけです。

そこで文科省はキャリア教育に対する大学設置基準を改正し、全大学に対し教育課程の中に職業的自立を図るための指導を盛り込むことと、就職者数の情報公開を、2011年度より実施するよう義務づけました。

これを受け、本学では既に学生の間で浸透している「就職支援室」を発展させ、「キャリアセンター」を新設。キャリアセンターのテーマには、「キャリア形成」と「自主活動支援」という二つのテーマが盛り込まれているのです。

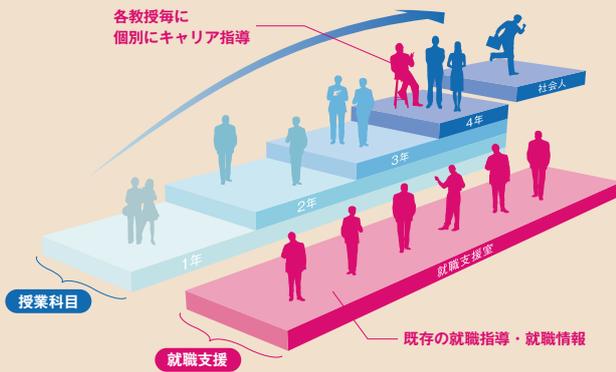
今までどおり就職活動に必要な情報やノウハウを提供していくのはもちろん、社会に出て働くことの意味や、学部学科で得た知識や経験が社会にどう役立つかを、学生がイメージしやすいようアシストしていきます。

例えば1年生を対象とする全学共通科目の中に、数多くの「キャリア形成科目」を開講。さらに各学部教員と連携し、専門科目と実際の職業との関連性を分かり易く説明するため、企業やOBを招いた講義スタイルも検討しています。また、修士課程1年をメインに実施されているインターンシップ(就業体験)を、学生が希望するならば各学部1・2年次からでも実施できるよう、受入れ先企業の確保をはじめ、単位・評価の設定などの仕組みづくりにも取り組んでいます。そして学生には1年間の自分を評価しチェックできるようポートフォリオ(自分自身の成長を自覚できる記録)を作成してもらい、年度終わりに各学部の指導教官がコメントを返す、あるいは面談するという体制も検討しています。いずれにしても、学生の実情とニーズを把握しながら、今年1年かけてプログラムを完成させていく予定です。これが実現できれば、現状の課題とされる「就職のミスマッチ」を少しでも排除し、これまでより一層、世の中に必要とされる優秀な人材を数多く輩出させていくことができるのではないかと考えています。

## 大学で得ることができる知識や経験が、社会でどう役立つのかイメージしやすいようにアシストします。

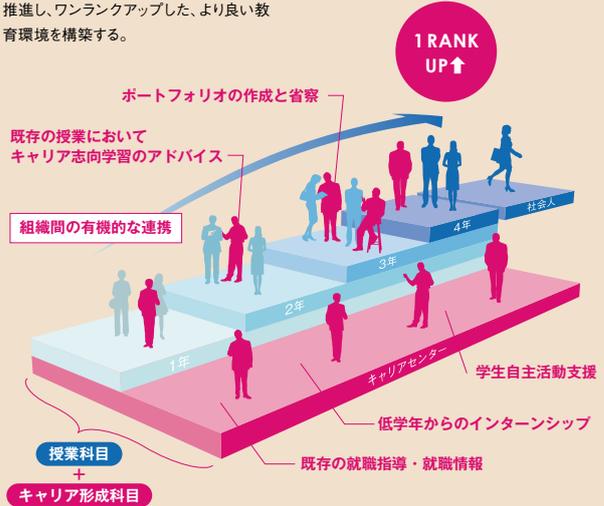
### 昨年度までの体制

これまでは、授業科目による教育と就職支援室とは別々で、専門科目では各教授が個別にキャリア形成を意識した教育をしていた。



### 今年度からの体制

新体制では、キャリアセンターがキャリア教育のノウハウの集約拠点として、全学的立場からキャリア形成支援と就職支援を推進し、ワンランクアップした、より良い教育環境を構築する。



## クラブ活動やボランティアもキャリア形成の重要ファクター。 人と協力し何かを成し遂げる経験が就業意識に通じる。

またクラブの支援にとどまらず、大学組織が行う事業活動のサポートメンバーや大学祭、企業展などのイベント実行委員の募集を手伝い、学生が自主的・自立的に行動できる環境・機会を積極的に創出。今年から実際に活動を開始します。6月には、学生主体の岐大発熟議推進委員会の主催・企画・運営、キャリアセンター共催で「熟議」も予定しており、現在はこれの実行委員の10数人の学生で、開催に向けての企画会議を行っています。さらに「熟議」が終わった後も、彼らには当センターが行う活動のコアメンバーとして活躍してもらえないのではないかと期待している。

大学での学びは、何も学業に限られるものではありません。たくさんの人との出会いや関わりを求め、新しい気づきや価値観を育てていくのも、この時期ならではの特権。ですから、学内外を問わず学生が自主的に行う活動に対し、当サポートセンターは全面的にバックアップしたいと考えています。さて、その中で第一に挙げがてくるのがクラブ活動です。これは企業の採用担当者が学生を評価する際にも、特に注目してくるポイントになっています。確かにクラブ活動に専念している学生はコミュニケーションや社会性に長け、リーダーシップ、マネジメント能力などの素養を自然に身に付けている場合が多く、「キャリア形成」の点からも重要なファクターになると考えられます。

最近の学生は、しっかりした就業意識を持った人と、そうではない人の二極化が進んでいると言われています。でも、これを「最近の〜」で片付けるのは間違いであって、前段で述べたように、高校の進路指導のあり方は元より、キャリア形成における大学側の説明不足にも問題があったかと思うのです。例えば工学部の学生には「エンジニアリング」というものは、「エンジニアリング」というものは、答えがあるかどうか分からないことを追求する仕事だよ」と、教員はちゃんと説明しなければいけない。そこを分らせてあげないと、自分の研究分野に興味を持てず、学ぶ意味すら見失う学生たちが続出したりまするわけです。

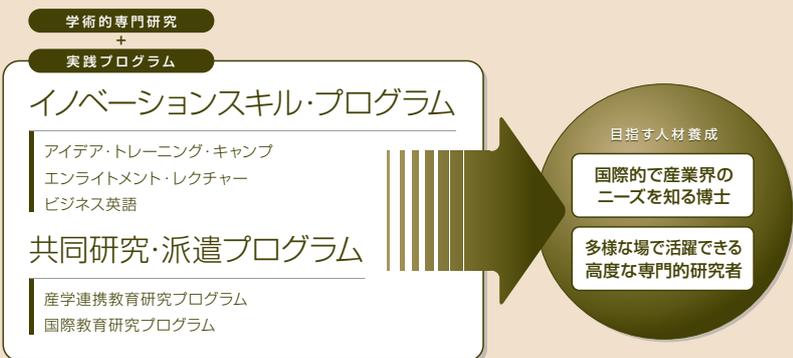
学生は就職に関する情報が溢れています。でもその情報に振り回されず、学生達には自分の目指す方向を純粹に探って欲しい。そして新たに設置される「キャリアセンター」を大いに活用していただければと思います。

# て活かす“道”の選択。



## 若手研究者の探究心を、 社会に役立てるプログラム。

文部科学省科学技術振興調整費「イノベーション創出若手研究人材養成」プログラムへの応募・採択により、昨年7月に誕生した「岐阜大学イノベーション創出若手人材養成センター」。  
ここでは博士後期課程の学生、および博士号取得後5年程度の研究者で、かつ企業への就職を希望する人に向けた「実践プログラム」を用意し、社会に通用する幅広い知識とスキルをもつ人材の輩出を目指しています。



モノづくり日本を支える開発力は  
ドクターの育成にかかっている。

少子化が進むなか大学や教育研究機関のポストが減少し、企業からは「扱いにくい」と敬遠されがちな博士号（ドクター）取得者の現状。努力してドクターになってもその先の進路が無い、または評価が低いとの理由から、博士後期課程を志願する修士学生が年々少なくなっています。実際問題、全国で毎年1万5000人ほど誕生するドクターのうち、三分の一は仕事が無いという厳しい状況。これを放置すれば、日本に若手研究者が生まれにくい、あるいは優秀な人材が海外に流出することにもなりかねません。

ご存知のように、日本は「モノづくりの国」として技術開発力の高さを世界にアピールしてきました。将来的にも、その基盤を揺ぎ無いものにするなら新しい発想を

持った研究者の活用は必須だと考えられます。だからこそ文部科学省も、今の実情に危機感を募らせ、こうしたプログラムを作って大学院教育の改革を本格的に進めていくわけです。

研究者に必要なのは  
プライドよりも職業意識。

博士後期課程に進む人の多くは、大学の教員や研究員の方向を望みます。しかし、その道のみこだわれば八方塞がりとなり、やがてモラトリアムな意識が支配します。「自分の居場所はここじゃない」。そんなプライドばかり高く言い訳の多いドクターに仕事は回って来ませんか。自分の能力を生かすにも、やはり職業意識は大事。それを持てばチャンスは広がるはず。

そこで当センターは「イノベーションスキル・プログラム」と「学

外研修プログラム」を設け、企業で働くためのスキルとマインドを徹底レクチャー。異分野の研究者たちとの交流を図り、企業で働く先輩ドクターや有識者を招いた講義やビジネス英語講座を開講し、その後、ドクターが希望し受入れ可能な国内・海外の企業等へ派遣します。企業派遣は、学生の視野を広げることももちろん、企業に本プログラムに参加しているドクターが良い人材であることを気付かせるのも狙い。学生には3〜6ヶ月スパンで企業ニーズに合う研究に従事してもらい、その間の賃金・保険・交通費、さらには研究費まで大学が負担します。

4月19日には「岐阜大学イノベーション創出若手人材連携育成会」が発足し、受入先企業に県内メーカー20社の登録がありました。今後、この輪を近隣他県および全国へと波及させていくのが当センターの務めであり、目標です。

センター長  
理事（教学・附属学校担当）・副学長

**岡野 幸雄**

専門分野は生化学・分子生物学。がん研究をテーマに、がん遺伝子オロラをヒトからクローニングし、DNA修復タンパク質分解を介した細胞増殖の分子機構を解析。昨年3月まで医学系研究科・分子病体学分野教授



副センター長  
工学部・人間情報システム工学科教授

**川崎 晴久**

2006年、5本指の人間型ロボットハンド「岐阜ハンド」の開発で文部科学省大臣表彰「科学技術賞」をはじめ、数々の賞を受賞。昨年は多指触覚インターフェイス「HIROⅢ」の開発で第8回産学連携功労者表彰「総務大臣賞」を受賞。



「大学院生必見!」  
研究者を支援している  
先生に伺いました!!



# 博士後期課程に進む大学院生のための就職 好きな分野を究め



## 「女性研究者の育成」から導く ライフデザインの描き方。

性別に関わりなく、それぞれの個性と能力が発揮できる社会の実現を。そんな大テーマを掲げ、昨年4月に設置された「男女共同参画推進室（人事労務課男女共同参画係）」の事業の柱は、「意識改革」「女性研究者育成」「女性研究者支援」「人的資源循環支援」。

林正子副学長を室長に、学内のみならず地域行政や企業とも連携した事業・プロジェクトを展開し、学生の就職に対する意識改革、自己実現のための機会創出を積極的に図っています。

学生の人生観や価値観を養成する機会を提供するのも、大学の使命。

岐阜大学では、目下、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業（採択課題名「多様性活力発揮に向けての女性研究者支援」）に取り組んでいます。「意識改革」「女性研究者育成」「女性研究者支援」「人的資源循環支援」の四つの柱から成るこのプログラムのうち、「女性研究者育成」の項では、「サイエンス夢追い人」育成プロジェクトを展開しています。ちなみにこれは、女子大学院生が小中高校に出向き、自分の研究内容を生徒達に分かり易く紹介していく「出前講義」。未来を担う子ども達に理系への興味・関心を喚起させると同時に、研究者自身のモチベーションやスキルアップを図ろうとするものです。しかしながらこの事業、プロジェクト



トの根底にあるのは、女子大学院生のみならず全学生に向けた大学としての「就職支援の想い」。つまり：自分の好きなことは何か、それを生かす道筋とは何か、そしてそこにある課題を引き受ける大切さを、学生達に考えてもらう機会の提示でもあるということ。

例えば、「リケジョ」を貫く強い意志が、生き方を左右する。

働きやすい職場とは何でしょうか？また職場における男女の特性や個々の資質の生かし方は、どうあるべきでしょうか？自分の中で、そうした理想や価値観の養成がなされないまま、単純に知名度や安定性から企業を選んでしまうと、就職活動の段階で失敗に終わる、あるいは運よく就職できても「合わないから」と早々に退職するという事態も起ります。職に就

「就職のミスマッチ」です。職に就

副学長(男女共同参画推進・環境対策担当)  
地域科学部 教授

**林 正子**

研究分野は日本近代文学。『異郷における森鷗外、その自己像獲得への試み』『郷愁と憧憬の人生と文学』『(東海)を読むー近代空間と文学』など、共著を含め著書多数。

男子も一見の価値アリ!

岐阜大学  
女性研究者ロールモデル集

19名の女性研究者の方々からそれぞれメッセージをいただき、まとめた一冊。ロールモデルたちの行動や考え方が非常に参考になる。



工学研究科電気電子専攻  
大学院2年 長谷川 裕士

教育学部生涯教育課程  
4年 田中 未恭

教育学部生涯教育課程  
4年 山越 健太



# 就活成功のカギは、 「なりたい自分」が持っている。

— 学生たちが手掛けた学生企業展の物語 —

岐阜大学で、毎年12月に開催される「学生企業展」。これは春先に行う就職ガイダンスの後、5月～6月にかけ20名ほどの学生実行委員を募り、彼ら主導で企画・運営する一大イベントです。開催9回目となった昨年は、参画企業103社、入場者数740名を集めるほどの盛況を収め幕を閉じました。そこで実行委員を代表する3名の学生に、半年に及ぶ活動の裏側をインタビュー。彼らがどう感じ、どう成長したかを、ぜひ感じ取ってください。



「なぜ実行委員をやるのか」と思っ  
たのですか？

長谷川 僕の場合、最初に携わったのが大学3年生の時。その翌年も、大学院への進学を決めていたためサポーター役として関わって来ました。今回は前年度実行委員の中に経験を引き継ぐべき2年生がいなかった関係で呼び戻され、実行委員長を任されることになったんです。もちろん企業展メンバーになれば、どの学生よりも早く企業の担当者と接触するわけですから、自分にとってのメリットが大きいことを知った上で手を挙げたところはあります。

山越 僕も自分の就職活動に役立ちそうだから、というのが一番の動機ですね。

田中 私は3年生になった時、それまでの大学生活で何もやってこなかった自分を後悔したんです。家が遠いから、とにかく早く帰らなければと思いついで、サークルにも入っていませんでした。何かやりたいなあと思って考えていたところに、企業展の話が長谷川さんが持ってきてくれたので、即やってみようと思いました。

「実行委員をやり終えた今の感想を聞かせてください。」

山越 開催準備で特に大変だったのは、新規に参加する企業へのアポ取りと、概要説明のプレゼンです。メンバーで担当を割り振り、

先輩内定者  
4人に伺いました!!



# ガンバレ就活! 先輩内定者のひと言アドバイス



地域科学部地域政策学科  
谷田 淳 (就職先:愛知県庁)

**筆記は早めに対策。  
面接は楽しむ感覚で。  
開き直りも必要です。**

公務員を目指すなら早めに動くのが肝心。私は大学3年になる前の春休みから筆記試験の勉強を始めました。また国家Ⅱ種の官庁訪問は第一志望にこだわらず、社会見学を楽しむ感覚でいろんな省庁を回り説明を受けました。この経験が後の面接にも生かされたと思います。何事も前向きな状況に持っていくことが大切です。



工学部電気電子工学科  
住吉 浩 (就職先:トヨタ紡織)

**身近な人への相談は  
自分の中に眠る  
「興味」を引出す近道。**

私には、やりたい夢がありませんでした。業種や仕事よりも企業の規模にこだわったため、エントリーシートに何を書いていいかわからない。そこで父親や親戚に相談しました。すると子どもの頃に興味を持った物を思い出し、それが今も変わっていないことに気づいたのです。夢は案外身近なところにあるようです。

**世代を超えて幅広く  
人と関わった経験が  
就活の武器になる。**

学生時代のせっかくの出会いを教授と学生、先輩と後輩、大人と子供などといった関係で終わらせないでください。多くの人と出会い、話をする中で他人の経験が自分の経験へと変わるはず。就活中、意識的に自分を装う必要はありません。日常の生活の中で築き上げた「自分自身」を、就活での強みにしてください。



教育学部国語教育講座  
北島 大輝 (就職先:大垣市役所)

**限られた時間の中では  
優先順位を決めて  
行動するのが大切です。**

私はまず、譲れない条件を決め「どんな仕事に向いているか、どんな仕事がしたいか」を考えました。履歴書や面接の準備では、学生時代に何を目的に何に打ち込んだかをまとめ、特に自信を持って言えることを自分の強みとして面接に挑みました。就活で学んだのは、やるべきことの優先順位を考え行動する大切さです。



工学研究科人間情報システム工学専攻  
渡邊 智一 (就職先:イビデン株式会社)

採用担当者宛に直接電話をかけ訪問するのですが、これがすごく緊張するんです。企業に向くメンバリの数は2〜3人。最初の1社は前年経験者が同行し、次からは新人だけで行かれます。僕は2社訪問したうちの1社でプレゼンを担当しました。大人の方を相手にプレゼンするなんて初めての経験でしたから、とてもいい勉強になりました。

田中 毎年企業展前にはセミナーも開催しているんです。今回は10月末に「模擬面接とマナー」を、11月中旬に「自己分析」をやりました。これは事前にメンバーを班分けし、内容や講師を決めていくもので、私は後者を担当する班のセミナー長を務めました。セミナー当日、300名収容の多目的ホールに立ち見が出るほど大盛況。その光景を見た時は嬉しさが込み上げてきて…。実行委員だから味わえた感動だったと思います。

一では、後輩学生に向けてメッセージをお願いします。

山越 いま僕は就活の真っ最中。企業面接で必ず尋ねられるのが、「大学時代に何をやったか。そこで何を得たか?」という質問です。そんな時にアピールできるのが、ここでの経験。僕は、もともと主体的に何かを企画するタイプではありませんでしたが、実行委員をきっかけに「自分から行動しなければ何も始まらない」ということ

をつくづく思い知りました。ですから今の自分を変えたいのなら、これも一つのチャンスだと思っています。

田中 同年代の子としか喋らない、遊ばない。実行委員になるまでの私は、とても狭い人間関係の中で過ごしていました。そんな私が企業に電話をかけた時、直接出向いて採用担当の方にプレゼンしたり。周りの友達に比べ、会えない人にとくさん会えた分、大人としてのマナーが身につく、考え方が成長したような気がします。やっぱり受身じゃなく、自分から積極的に行動するのって楽しいですよ!

長谷川 企業展実行委員の活動は6月〜12月の半年間。それまでの間、毎週1回は全体会議をやり、セミナー班ごとの会議もやりま

話し合いや雑務、交渉事も多く、決してラクではないと思います。ただ確実に、社会人として必要な礼儀が身に付きますし、視野も広がります。また、市場調査やセミナーの下調べなど、企業展に必要なことで学生がやってみることは、予算が許す限りやれる環境があります。今年度も5月から募集が始まります。ぜひチャレンジしてください。



# 岐阜大学の 基金の 状況報告

## 基金創設の趣旨

本学が、更なる飛躍発展を遂げ、地域社会からの信頼と期待に応え、地域社会に貢献できる大学としての責任を果たすためには、流動的・機動的資金の運用が可能である基金が必要であることから「岐阜大学基金」を創設しました。

この基金は、多くの皆様のご協力により、学生に対する奨学金や国際交流事業、特色ある研究活動への支援、地域社会への貢献事業、キャンパス整備など継続的な教育研究活動に活用することとしております。

## 平成22年度支援事業

岐阜大学基金の創設以来、多くの皆様からご寄附をいただき、ありがとうございます。  
貴重なご寄附を有効活用するため、今年度から以下の支援事業を展開しております。

(1) 学生支援事業（深い専門知識、広い視野と総合的な判断力を備えた人材育成のための支援）

- 応援奨学生
- 岐阜大学流域水環境リーダー育成拠点形成事業に関する私費外国人留学生学習奨学金

(2) 特定事業（寄附者が指定する事業を実施）

- 国際交流促進のための奨学金寄附金
- ドリームプロジェクト（コンティグ・アイ）
- 岐阜大学事業奨励奨学金寄附金
- 外国人留学生支援事業

## 平成22年度支援事業報告

● 応援奨学生を決定し、奨学金を給付しています。

岐阜大学では、昨年創立60周年を契機に立ち上げた岐阜大学基金による事業の一環として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となる学生に奨学金を支給することにより、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に、平成22年度より応援奨学生制度を開始しました。

なお、平成22年度の奨学生18名を決定し、10月6日（水）に決定通知書交付式を行いました。

● 岐阜大学流域水環境リーダー育成拠点形成事業に関する私費外国人留学生学習奨学金を給付しています

岐阜大学流域水環境リーダー育成拠点形成事業プログラムの育成候補者および育成対象者となる私費外国人留学生で、人物および学業成績において優れ、かつ経済的理由により修学が困難と認められる者で、他の奨学金を受給していない者を対象に開始しました。

## 寄附者芳名録

卒業生をはじめ多くの皆様から岐阜大学へご協力いただき、心よりお礼申し上げます。ご寄附いただきました皆様への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。今号では、前号以降2月末までにご寄附いただいた方で、掲載をご了承いただいた方を五十音順にご紹介いたします。なお、本学役員につきましては割愛させていただきます。また、3月以降にご寄附をいただきました方については次号にて掲載させていただきます。  
今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 個人

青木 和芳様 青木 勢津子様 秋山 真由美様 秋山 龍馬様 朝倉 恩様 浅田 晃様 浅野 憲次様 浅野 哲市様 朝原 亨様 東 修次様 安達 次郎様 安部 正等様 安田 秀夫様 安藤 一男様 安藤 さち様 飯田 辰美様 飯沼 豊様 井狩 寅三郎様 伊木 健治様 井口 琢郎様 池田 善彦様 池部 明様 池村 千恵子様 伊佐 誠様 勇 直子様 石川 淳子様 石川 晶崇様 石橋 裕子様 石原 康子様 石原 靖久様	石原 之弘様 泉 洋次様 五十川 好子様 市川 隆様 伊藤 蔵様 伊藤 賢市様 伊藤 泰介様 伊藤 積様 伊藤 道雄様 福垣 克己様 福垣 幸男様 井上 健太郎様 有田 秀夫様 猪俣 光則様 今井 路子様 今枝 由弘様 今川 正治様 岩崎 俊様 岩崎 真砂子様 岩崎 博様 岩附 佳明様 岩堤 慶明様 上杉 嘉洋様 内原 勇様 宇野 弘様 恵良 宏子様 大井 保様 大口 富三様 大澤 一男様	大谷 裕子様 大前 充様 小笠原 秀夫様 小笠原 政道様 岡田 実様 奥田 峻様 奥村 治様 小栗 奈津子様 長田 昭政様 尾関 健二様 各務 博美様 柿本 陽一様 嘉住 熊二様 加瀬 学様 加藤 和夫様 加藤 克彦様 加藤 賢龍様 加藤 卓司様 加藤 智康様 加納 宣康様 神谷 隆夫様 神谷 正広様 亀山 三砂子様 亀山 緑郎様 川出 武夫様 川上 節男様 川崎 保之様 川瀬 二郎様 川瀬 則雄様 川瀬 洋子様	河村 民夫様 木田 公洋様 木田 佐代子様 北川 精一様 木村 敦子様 木村 壮様 木村 長治様 木村 美代子様 木村 善美様 日下 純一様 楠井 徳之様 口丸 和雄様 熊谷 當江様 熊崎 公司様 黒川 栄介様 白木 基啓様 杉本 和彦様 杉山 尚之様 杉山 道雄様 後藤 正規様 後藤 由美子様 鈴木 清明様 鈴木 千尋様 鈴木 洋人様 鈴木 満様 須藤 国彦様 住田 光夫様 関 紀子様 曾賀野 悟史様 傍島 善次様 高井 清水様	佐藤 誠治様 佐藤 博司様 佐藤 幸夫様 澤井 克弘様 澤田 政吉様 下地 克己様 柴田 正人様 島谷 利行様 清水 正夫様 清水 弘数様 清水 宏晏様 清水 盛明様 清水 昭一様 下田 朋子様 庄加 良平様 白井 秀典様 白木 基啓様 杉本 和彦様 杉山 尚之様 杉山 道雄様 鈴木 清明様 鈴木 千尋様 鈴木 洋人様 鈴木 満様 須藤 国彦様 住田 光夫様 関 紀子様 曾賀野 悟史様 傍島 善次様 高井 清水様	高木 和己様 高島 右衛門様 高橋 睦様 竹内 洋様 竹内 宏様 竹内 克二様 竹田 龍二様 竹花 昌平様 田島 久嗣様 田中 恵三様 田中 治夫様 田中 宏幸様 田中 豊様 谷本 浩一様 玉井 廣一様 玉井 美彦様 玉置 健三様 田谷 与一様 多和田 泰子様 土山 克己様 都築 利元様 坪内 繁樹様 鶴見 昇三様 手取屋 征夫様 東方 喜之様 戸崎 志朗様 富田 知男様 野原 春江様 野原 英俊様 野村 久雄様 萩原 俊彦様	中尾 直美様 長岡 康孝様 長坂 只次様 長島 紘和様 中島 弘義様 中島 正孝様 中根 鉦一様 中村 榎吾様 中村 孝雄様 中村 永盛様 中山 芳様 那須 理三郎様 鍋島 正稔様 名村 義次様 榎木 仁様 成瀬 ひろみ様 西井 正美様 西田 研様 西田 雅代様 西田 治市様 西村 啓二様 西村 康治様 丹羽 武廣様 野 雄大様 野口 昭虎様 野田 龍雄様 野原 春江様 野原 英俊様 野村 久雄様 萩原 俊彦様	長谷川 哲朗様 長谷川 徹様 羽田 昭雄様 羽田 清志様 畑中 博子様 畑守 正士様 服部 美由起様 服部 善文様 早川 一雄様 早川 敏秋様 林 金吾様 林 毅彦様 林 千代様 林 町子様 林 由是様 早野 敦様 原 弘隆様 阪野 敏彦様 平手 達郎様 平野 万里子様 廣瀬 修様 広瀬 照子様 広田 邦雄様 福井 正信様 福嶋 敏郎様 福富 敏雄様 藤井 賢司様 藤川 紘樹様 藤森 進様 夫馬 卓二様	前田 義人様 増田 和彦様 松浦 進様 松浦 泰一様 松尾 弘之様 松坂 吉博様 松本 和様 三品 孝雄様 水庫 利重様 水谷 裕様 水野 悦司様 水野 莊治様 水野 光治様 水野 悦弘様 三井 淳藏様 三岡 孝幸様 宮澤 正治様 宮地 永一様 村瀬 晃司様 村田 憲治様 村山 登代二様 村山 静司様 桃原 春雄様 森 克彦様 森 正實様 森岡 征夫様 森下 弘基様 森安 一男様 安江 隆治様	安江 弘正様 安田 賢三様 安田 純子様 矢橋 温郎様 藪田 茂様 藪田 純子様 山口 玄示様 山口 幸枝様 山田 篤秀様 山田 清様 山田 兼三様 山田 浩二様 山田 伸様 山田 辰夫様 山田 直光様 山田 守貞様 山田 保雄様 山中 實様 山中 康義様 山本 昇様 湯沢 勝様 横山 郁子様 横山 洋子様 吉村 元晴様 吉安 洋様 脇田 浩次郎様 脇田 博様 渡辺 喜八郎様 渡辺 暁様 渡辺 泰三様
--	--	---	---	---	---	--	--	--	---

### 団体

(株)TYK 様 (株)大垣共立銀行黒野支店 様 (株)コンティグ・アイ 様 (株)高修 様	(株)ツキオカ 様 (株)日本タクシー 様 財団法人福寿会 様 愛知県職員林務関係同窓会 様	アルフレッサ日建産業(株) 様 酒井金物店 様 シーエムシー技術開発(株) 様 シーシーアイ(株) 様	創文堂事務機(株) 様 ハートランス(株) 様 日東興産(株) 北方自動車学校 様 富士通(株) 東海支社 様	双葉会 様 三田洞自動車学校 様 ミニストップ(株) 様
---	---	--	--	------------------------------------

岐阜大学よりお知らせ

# 「岐大のいぶき」が新しくなりました！



**NEW**  
岐大のいぶき  
**No.21**

「岐大のいぶき」は、岐阜大学の広報誌として平成13年2月に創刊し、教育・研究活動に関する本学の情報を広く社会に発信し続けています。主な読者は、現在、公共機関関係者様、本学在学生の保護者様、高等学校様などですが、より幅広い皆様に読んでいただくことをめざし、本号より誌面内容、デザインともに一新することいたしました。

本号の編集にあたって「岐大のいぶき20号」読者の皆様から送りいた

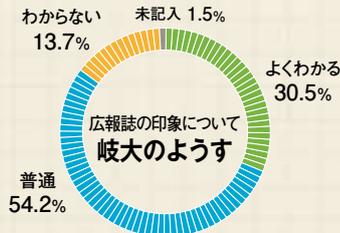
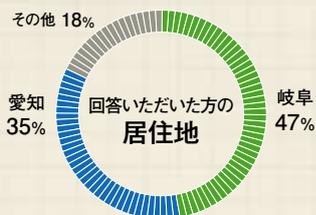
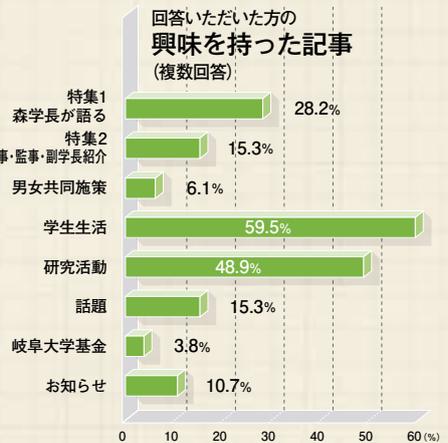
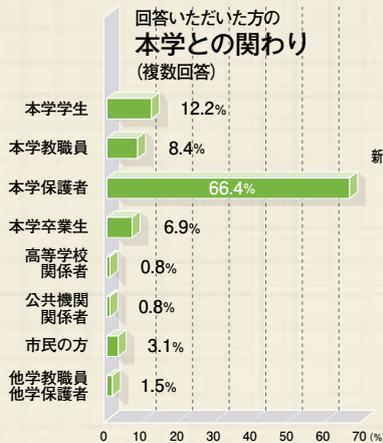
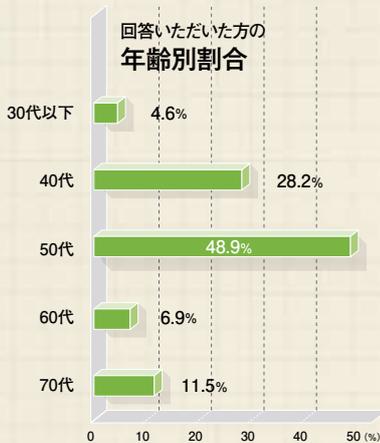
だいたアンケートを大いに参考にさせていただきました。「岐大のいぶき」をご覧いただいた皆様からのご意見・ご感想・ご要望は常時受け付けております。さらに充実した広報誌づくりのため、同封のはがきにて、皆様のお考えをお知らせいただければ幸いです。

新しい「岐大のいぶき」が皆様と岐阜大学の架け橋となるよう、これからも常に読者の皆様の視点に立って、岐阜大学の今を発信して参ります。今後ともよろしく願い申し上げます。

## たくさんのご反響に感謝！

### 岐大のいぶきNo.20 アンケート結果 (回答数131)

前号にて多くのご反響をいただきました。誠にありがとうございました。アンケート結果を見ますと、「年齢別割合」や「本学との関わり」からは、保護者の方の関心が高く、本誌を配布させている高等学校関係者、公共機関関係者の方からはまだまだご反響をいただくに至っていないことがわかります。「岐大のようす」についても“よくわかる”が30.5%と、努力の余地がありそうです。そして、「興味を持った記事」は学生生活や研究活動が多く、それ以外では、20号では取り扱っていなかった“就職”に関わる話題を希望する声を非常に多くいただきました。



### 今後取り上げたら良いと思われるテーマ



これからも、皆様のご意見・ご要望に基づきより良い広報誌をお届けいたします。

# 公開講座のご案内

岐阜大学では大学で行われる授業や研究の取り組みを広く知っていただくため公開講座を行っています。募集期間を設けている講座がありますので、詳細は大学 Web サイトでご確認ください。

講座名	定員	information	問い合わせ
■親子天文教室	各20組	4/23(土)(終了)、8/6(土)、11/5(土)、2月未定(1回毎に受付) ☎ 17:30~20:30 ¥ 無料 ☑ 小中学生とその保護者	☎ 教育学部 058-293-2351
■化石教室 「園児のための化石レプリカ作り教室」	10組	5/7(土) ☎ 13:30~15:00 ¥ 無料 ☑ 幼稚園・保育園児とその保護者	
■昆虫教室 「わくわく、びっくり! 昆虫探検」	20組	7/9(土) ☎ 9:00~12:00 ¥ 無料 ☑ 小学生とその保護者	
■美術教育講座	各15人	7/17~8/31(3回) ☎ 9:00~17:00 ¥ 無料 ☑ 高校生・中学生	
■【岐阜大学環境講座】 長良川の自然、文化と地域科学	50人	9/10~10/1(3回) ☎ 10:30~16:30 ¥ 7,200円(学生は6,000円) ☑ 一般市民(高校生を含む)	☎ 地域科学部 058-293-3003
工学の 最前線 2011	各15人	■環境問題を化学の視点で捉える 4/26(火)(終了) ☎ 8:50~10:20 ¥ 無料 ☑ 学生、一般市民、技術者	☎ 工学部 058-293-2365
		■Efficient use of capillary columns in liquid chromatography 5/17(火) ☎ 8:50~10:20 ¥ 無料 ☑ 学生、一般市民、技術者	
		■クリーンなエネルギー源 太陽光発電 未定 ☎ 未定 ¥ 無料 ☑ 学生、一般市民、技術者	
		■機能性セラミックス材料について 10/7(金) ☎ 9:00~10:20 ¥ 無料 ☑ 学生、一般市民、技術者	
		■挑戦する数理—現象の計算機シミュレーションを究める— 11/3(木祝) ☎ 13:00~15:30 ¥ 無料 ☑ 学生、一般市民、技術者	
■プラズマロケットと宇宙探査 1/30(平成24年) ☎ 12:50~14:20 ¥ 無料 ☑ 学生、一般市民、技術者			
■組込み技術者育成講座①、②	各10人	8月~10月の土日 ①:2回 ②:5回 ☎ 10:00~16:00 ¥ 無料 ☑ 学生、技術者、プログラミング経験者	
■【岐阜大学環境講座】 長良川エコカフェ&長良川エコツアー 2011	延べ160人	4/1~3/31 エコカフェ:6回 エコツアー:2回 ☎ 13:00~17:00 ¥ 無料 ☑ 一般市民	
■応用生物科学部 中学生のための体験科学講座	33人	10月または11月の土日で1日開催 ☎ 9:00~17:00 ¥ 無料 ☑ 中学生	☎ 応用生物科学部 058-293-2835
■家庭菜園の基礎 — 理論と実際 —	25人	4/1~2/28 ☎ 10:00~12:00 ¥ 10,200円 ☑ 一般市民	
■【岐阜大学環境講座】 耕地・森林生態系の保全生態学	50人	未定(日曜日) ☎ 13:00~ ¥ 無料 ☑ 一般市民、高校生	☎ 連合農学研究科 058-293-2984
■生命科学公開講座 ~大人も学生もわかる最先端生命科学研究~	30人	11/1~11/30 ☎ 13:00~17:10 ¥ 無料 ☑ 一般市民、中学生	☎ 生命科学総合研究支援センター 058-293-2014
■生涯学習の今日的意義と課題 — 今、生涯学習に求められるもの —	30人	12/4(日) ☎ 10:00~16:00 ¥ 5,200円 ☑ 生涯学習・社会教育関係職員、 社会教育主事、公民館主事等学習施設の職員、ボ ランティア指導者、一般市民、学生等	☎ 総合情報メディアセンター 058-293-2284
■先端を行く連合創薬医療情報研究科	20人	6月~7月 ☎ 13:00~17:00 ¥ 無料 ☑ 一般市民、学生	☎ 連合創薬医療情報研究科 058-230-7602
■医療マネジメント講座	50人	10月~12月 ☎ 13:00~17:00 ¥ 無料 ☑ 医療専門職、医療経営に携わる者	

## 「岐大のいぶき」について

「いぶき」は、滋賀・岐阜県境にある伊吹(いぶき)山と生気・活気を意味する息吹をかけて名付けられました。岐阜大学のある濃尾平野には、「伊吹おろし」と呼ばれる強い季節風が吹き込みます。これになぞらえ、本誌には、岐阜大学の活力(いぶき)を地域から世界へ感じさせたいという願いが込められています。

岐大のいぶきはWebからもご覧いただけます!

<http://www.gifu-u.ac.jp/>

■「岐大のいぶき」についてのご意見ご感想をお待ちしております。

送付先/岐阜大学経営企画部経営企画課広報室 〒501-1193 岐阜市柳川1番1

TEL 058-293-2009 FAX 058-293-3294 Email kohositu@gifu-u.co.jp